

証明 2

数学的帰納法を次のように用いて証明することもできる。

$$\left[F_n = x_1^n + x_2^n + \cdots + x_n^n - nx_1x_2 \cdots x_n \geq 0 \quad \cdots \cdots (**) \right]$$

を示せばよい。

(I) $n = 2$ のときは,

$$F_2 = x_1^2 + x_2^2 - 2x_1x_2 = (x_1 - x_2)^2 \geq 0$$

より (**) は成り立つ。

(II) $n = k$ のとき (**) が成り立つと仮定する。

$f_{k+1}(x) = x_1^{k+1} + x_2^{k+1} + \cdots + x_k^{k+1} + x^{k+1} - \{(k+1)x_1x_2 \cdots x_k\}x$
とおくと ($f_{k+1}(x)$ は x の $k+1$ 次関数),

$$f_{k+1}'(x) = (k+1)x^k - (k+1)x_1x_2 \cdots x_k$$

であるから

$$x = \sqrt[k]{x_1x_2 \cdots x_k} \quad (= \alpha \text{ とおく})$$

x	(0)	\cdots	α	\cdots
$f_{k+1}'(x)$		-	0	+
$f_{k+1}(x)$		\searrow		\nearrow

のとき $f_{k+1}(x)$ は最小になる。最小値は

$$f_{k+1}(\alpha) = x_1^{k+1} + x_2^{k+1} + \cdots + x_k^{k+1} + \alpha^{k+1} - (k+1)x_1x_2 \cdots x_k\alpha$$

($\hookrightarrow \alpha^{k+1} = x_1x_2 \cdots x_k\alpha$ に注意する.)

$$= x_1^{k+1} + x_2^{k+1} + \cdots + x_k^{k+1} - k(x_1x_2 \cdots x_k)^{\frac{k+1}{k}}$$

となる。ここで,

$$y_1 = x_1^{\frac{k+1}{k}}, y_2 = x_2^{\frac{k+1}{k}}, \cdots, y_k = x_k^{\frac{k+1}{k}}$$

と置き換えると

$$f_{k+1}(\alpha) = y_1^k + y_2^k + \cdots + y_k^k - ky_1y_2 \cdots y_k$$

となり, これは (**) の $n = k$ の場合を利用することで $f_{k+1}(\alpha) \geq 0$ が成立する。
よって, $n = k+1$ のときも (**) は成り立つ。

(I), (II) が示されたから, 数学的帰納法により $n \geq 2$ なる任意の整数 n に対し (**) が成り立つことが示された。■